

特別支援学級の概要

- 障がいの種類(「知的障害」「自閉症・情緒障害等」)ごとの少人数学級で、子ども一人ひとりの特性に応じた合理的配慮のもと、カリキュラムを整え、個に応じた指導・支援を行っています。
- 草加市では、特別支援学級が全校に設置されています。

1 目標

- (1) 学習することの楽しさや達成感を味わい、実態に応じた学習内容を身に付けます。
- (2) 基本的な生活習慣を身に付け、自立していくための基礎づくりをします。
- (3) 学校生活の中で、友達、教師と関わりながら、コミュニケーション能力の向上を図ります。
- (4) 通常学級や他校の特別支援学級等との交流を深めながら、集団への適応を図り、社会性を身に付けます。

2 学級の人数と教員

- (1) 児童8人までで教員が1人(法令による)
- (2) 1年生から6年生までが、同じ教室で学習や生活をします。
- (3) 学校の実態に応じて、特別支援教育支援員が配置されています。

3 登下校

- (1) 通学方法・・・登校は、原則通学班で徒歩による通学
下校は地区ごとに集団下校(1年生のみ)
※必要に応じて、保護者の見守り、保護者の送迎
- (2) 通学班集合時刻・・・7時30分から7時50分ごろ
- (3) 登校時刻・・・8時から8時10分ごろに学校着
- (4) 下校時刻・・・1年生は毎日15時ごろ下校

4 学習について

- (1) 教科の学習について
 - 少人数の学級集団で学習を進めますが、一人ひとりの実態に応じた課題を設定し、その課題に取り組みます。
 - 学習内容によって、複数の特別支援学級が合同で学習を進めることもあります。
 - 教科書については、該当の学年の教科書が渡されます。必要に応じて教科書を用いた学習をします。

(2) 生活単元学習について

- 一人ひとりの実態に応じて、生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、各教科等の内容を総合的に学習します。
- 身に付けた内容が実際の生活に生かされることを目標にしています。
- 生活単元学習の例
 - ・行事単元：行事（発表会、宿泊学習等）の事前の準備や練習、終了後のまとめなどの学習
 - ・季節単元：季節や季節の行事（お正月、豆まきなど）について知り、その楽しさを味わう学習
 - ・生活課題単元：「野菜をつくろう」等興味と実態に合った学習

(3) 自立活動について

- 社会的自立を目指し、健康面、情緒面、人との関わり、認知面、運動・動作、意思の伝達等における力を養うことで、各教科・領域等の学習や生活の基盤づくりを行います。

(4) 交流及び共同学習について（通常学級との交流）

- 児童の実態に応じて、実施の有無、どの教科で交流を行うのか、週に何時間程度行うのかを担任と保護者で相談して決めていきます。

5 日課表（特別支援学級1年生の例）

	月	火	水	木	金
8:10	登校				
8:30	朝の活動（運動、読書、個別の学習など）				
8:50	朝の会				
9:35	（健康観察・歌・一日の流れ・連絡帳など）				
9:40	国語	算数	国語	算数	国語
10:25	休み時間				
10:50	算数	生活単元	図工	生活単元	算数
11:35					
11:40	体育	生活単元	図工	生活単元	音楽
12:25					
12:25	給食（準備・食事・片付け・歯磨き）				
13:10					
	そうじ・昼休み				
13:50	音楽	体育	自立活動	体育	生活単元
14:35					
15:00	帰りの会・下校				